

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
小学校	那智勝浦町立下里小学校	堺 高行
学校所在地		
(〒649-5142) 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町下里2862 tel 0735(58)0021 fax 0735(58)0949		
担当者名		役職名・担当教科
橋本 良平、中村 悟		教諭・5年生担任 6年生担任
<p>〔学校の概要〕</p> <p>本校は太田川の河口部に位置し、校区内には平野部と海岸台地があり、かつては木材の集散地として人々が盛んに往来した。そのため商業地としても栄えたが、林業の衰退に伴い地域の産業構造も変化した。現在、保護者の多くは地域外に就労しているが、代々当地区で居住している家庭も多い。教育への関心も高く、社会教育活動への参加も熱心で、人々の連帯感も強い。佐藤春夫(1892-1964)の曾祖父で歌人でもあった佐藤百樹が私塾「懸泉堂」を開き教育に当たったことから、歴史的に見ても教育に関心が高い地域であるといえる。</p>		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等(延人数)	主な活動場所
学年5・6年生 31名	5名 職員 5名	本校、熊野参詣道大辺路・中辺路、熊野本宮大社
実践研究テーマ		
自分の考えを豊かな表現で伝え、学び合うことのできる子どもの育成		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間	5年生「発見！地域のたからもの」 6年生「考えよう！地域の未来」	
〔キーワード〕 世界遺産学習 地域学習 総合的な学習の時間		
<p>〔単元目標〕</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「地域のたからもの」について詳しい方や和歌山県世界遺産センターの方々から話を聞いたり、実際に熊野参詣道を歩いたりすることで、自分たちの地域の魅力を理解する。(知識及び技能)</li> <li>2 世界遺産の意義や未来に伝え残していくという考え方を知り、これからの地域のあり方について自分なりの考えをもち、発信していく。(思考力、判断力、表現力等)</li> <li>3 自分たちの住んでいる地域のたからものについてすすんで調べ、より良い地域の未来について考えようとする。(学びに向かう力、人間性等)</li> </ol>		
<p>〔学習に当たった全学習時間数(世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名/教材名)〕</p> <p>5年 全体 16 時間 (「世界遺産について調べよう・まとめよう」 10時間 )</p> <p>6年 全体 30 時間 (「考えよう！地域の未来」 11時間 )</p>		
<p>〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕</p> <p>なちかつ古道を守る会・那智勝浦町教育委員会生涯学習課 …… 総合的な学習の時間「清水峠を歩こう」</p> <p>和歌山県世界遺産センター・和歌山県世界遺産マスターの方々 …… 次世代育成事業(世界遺産講座・現地学習 等)</p>		

実践校に関する事項

〔単元指導計画概要〕

< 5 年生 > 「世界遺産について調べよう・まとめよう」

時	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1 ・ 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界中の世界遺産を調べてみよう。</li> <li>興味のある世界遺産を調べ、まとめよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの経験から、世界遺産について知っていることを出し合うようにする。</li> <li>インターネットを利用しながら、世界遺産について多くの情報を収集し、個々にまとめるようにする。</li> </ul>	学びに向かう力、人間性等 (観察・ワークシート)
3 ・ 4 ・ 5 ・	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちの地域にある世界遺産について調べよう。</li> <li>熊野三山 熊野那智大社 青岸渡寺 補陀洛山寺 熊野参詣道 那智の滝 那智原始林</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4年生の時に社会科「地域にのこしたいもの」で学習したことや清水峠を歩いたことなどを思い出せるように、昨年資料を用意しておく。</li> <li>パンフレットやガイドマップ、インターネットなどで情報を集めるようにする。</li> </ul>	知識及び技能 (ワークシート) 学びに向かう力、人間性等 (観察・ワークシート)
7 ・ 8 ・ 9	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界遺産の場所を訪れよう。</li> <li>和歌山県世界遺産センターにて、世界遺産講座を受ける。</li> <li>【フィールドワーク】</li> <li>熊野参詣道中辺路(三軒茶屋跡～熊野本宮大社)を歩こう。</li> <li>参詣道の保全活動をしよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界遺産講座を受講し、世界遺産の価値を理解した上で、参詣道ウォークを行うようにする。</li> <li>和歌山県世界遺産マスターの方々の話を聞きながら参詣道を歩き、その素晴らしさを実感できるようにする。</li> <li>実際に道普請の作業を行うことによって、参詣道の今の状態を自分たちで守っていくという意識づけをさせる。</li> </ul>	知識及び技能 (ワークシート) 学びに向かう力、人間性等 (観察・ワークシート)
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>聞いたことや体験したことをもとに学習を振り返り、たからものカードにまとめよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真、資料、ワークシートを基に学習を振り返る。</li> <li>フィールドワークで得た情報も活用できるようにする。</li> </ul>	思考力、判断力、表現力 (観察・ワークシート)

< 6 年生 > 「考えよう！地域の未来」

時	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1 ・ 2 ・ 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちの地域にどんなものや場所があるか調べよう。</li> <li>これまで調べてきた地域のことで、調べてみたいことを調べる。</li> <li>清水峠、下里古墳、下里水路観測所 佐藤春夫、懸泉堂、熊野古道、那智の滝、勝浦温泉、世界遺産</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでに社会科や総合的な学習の時間に学習してきたことを写真で振り返るようにする。</li> <li>パンフレットやガイドマップ、インターネットなどで情報を集めるようにする。</li> </ul>	知識及び技能 (ワークシート) 学びに向かう力、人間性等 (観察・ワークシート)
4 ・ 5 ・ 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の未来について考えよう。</li> <li>地域を活性化していくには、どうすれば良いか考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の人たちから実際の声を聞く機会を設け、身近な問題として捉えることができるようにする。</li> </ul>	学びに向かう力、人間性等 (観察・ワークシート) 思考力、判断力、表現力 (観察・ワークシート)
7 ・ 8 ・ 9	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界遺産の場所を訪れよう。</li> <li>和歌山県世界遺産センターにて、世界遺産講座を受ける。</li> <li>【フィールドワーク】</li> <li>熊野参詣道中辺路(三軒茶屋跡～熊野本宮大社)を歩こう。</li> <li>参詣道の保全活動をしよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界遺産講座を受け、世界遺産の価値を理解した上で参詣道ウォークを行うようにする。</li> <li>和歌山県世界遺産マスターの方々の話を聞きながら参詣道を歩き、その素晴らしさを実感できるようにする。</li> <li>実際に道普請の作業を行うことによって、参詣道の今の状態を自分達で守っていくという意識づけをさせる。</li> </ul>	学びに向かう力、人間性等 (観察・ワークシート) 知識及び技能 (ワークシート)
10 ・ 11	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習したことをまとめ、発表しよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真、資料、ワークシートをもとに学習を振り返る。</li> <li>フィールドワークで得た知識も活用できるようにする。</li> <li>次単元「地域の未来について提案しよう」につながるよう、世界遺産の考え方やユネスコの理念についても取り上げるようにする。</li> </ul>	思考力、判断力、表現力 (観察・ワークシート)

## 〔単元学習の成果と課題〕

### 【成果】

5年生は、昨年度、総合的な学習の時間に地域学習として、清水峠を歩き、校区内の世界遺産「熊野参詣道大辺路清水峠」について学習している。児童たちは、その時の道の様子や巨岩があったことなどをよく覚えていた。今年度は範囲を広げ、熊野三山や熊野地域の世界遺産について学習した。熊野参詣道を実際に自分の足で歩いたり、参詣道の保全活動に自ら参加させていただいたりすることで、世界遺産の偉大さや魅力、未来に残していかなければならないことを肌で感じ取ることができた。また、和歌山県世界遺産マスターの方々から熊野詣についてや世界遺産について等、様々な話を聞かせていただいたことで、「地域のたからもの」としてその魅力を存分に知ることができた。

6年生は、昨年度、熊野参詣道中辺路かけぬけ道を歩き、清掃活動をさせていただいた。清水峠やかけぬけ道、そして今回の熊野本宮大社付近と、様々な世界遺産登録場所を見ることができている。また、熊野参詣道を実際に自分の足で歩き、周りに広がる美しい景観を味わい、その魅力を存分に体感することができた。さらに、和歌山県世界遺産マスターの方々から、熊野詣についてや世界遺産についてのお話を伺い、社会科で学習したことを確認することができ、また、道普請をさせていただくことで、大変な作業ではあったがその分参詣道を自分たちの手で守っているという自覚をもち、地域の未来を考える上で必要なものの見方考え方を学習することができた。

### 【課題】

昨年度の清掃活動や今年度の土入れ作業によって、参詣道を自分たちの手で守るという意識をもつことはできた。しかしながら、昨年度も課題に感じたが、歩きやすくするためとしか認識しておらず、参詣道の現状を保護するためということとはなかなか理解することが難しい。

## 〔世界遺産学習の効果〕

5年生は、和歌山県世界遺産センターの方々や和歌山県世界遺産マスターの皆さんの話を聞き、また実際参詣道を歩き、周りに広がる美しい景色を見たり、熊野本宮大社を訪れたりすることで、世界遺産としての価値を存分に感じ取ることができた。そして、そこからもう一度自分達の身近な地域のたからものへと視点を戻すことで、改めてその価値を見直すきっかけとなった。

6年生も、5年生と同じく座学での世界遺産学習と現地での体験学習を通して、世界遺産の価値を肌で感じ取ることができた。自分たちの地域の未来について、大切な物は守りながら、いかに活用していき、地域を盛り上げていくことができるのか、児童達なりに考えることができた。

## 〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕

世界遺産学習は、平和学習や地域学習を行っていく上で最良の教材である。今後も継続して取り組んでいきたい。しかし、学校で世界遺産学習を進めていくには、教員がある程度世界遺産についての知識をもち、紀伊山地の霊場と参詣道の世界遺産としての価値を理解しておかなければならない。教職員向けの世界遺産研修が必要である。和歌山県世界遺産センターや町の世界遺産担当課、和歌山県世界遺産マスターの方々等に協力いただくなどして、研修の機会を設けるようにしたい。

また、校区内に登録資産があるという環境を生かしなら、今後も世界遺産学習に取り組んでいきたい。今年度は、4年生が清水峠についての学習や古道ウォークを行った。3年生の地域学習でも熊野古道について取り上げるようにし、3年生から6年生の世界遺産学習までを系統立てて学習できるようなカリキュラムにできたらと考えている。そして、自分たちの地域の参詣道は自分たちで守り、未来へ伝え残していくという実践的な態度を育てていきたい。

児童の感想・学習のまとめより抜粋

熊野古道を歩いた感想

熊野古道を歩いた感想は、まず最初に、1.5トンの土を運んですごく大変だったことです。だけど、道がきれいになったからよかったです。あと、運び終わったあとの達成感がすごかったです。

2.5km歩いたときは、那智の熊野古道まではいかないけど、とても険しい道だなと思いました。昔の人は、この道をよく通っていたのが、すごいと思いました。熊野古道は、きみい寺、本宮、高野まで続いているのが、すごいと思いました。いい経験ができてよかったです。

(6年生児童)

つかれはてた熊野古道

金曜日に、熊野古道を歩きました。

まず初めは、バスに乗り込み本宮へ行きました。バスの時間が1時間20分で、少し長かったので、バスの中ではねむりかけていました。

到着して、バスをおりて歩くこと15分。着いたと思ったら、ブルーシートに積まれた大量の土があって、「え。まったまった。これを運ぶん？」ってなりました。

最初、ちょうしに乗って右4左4でかついたら、信じられないくらい重くて、その後がきつかったです。へとへとになりました。

その後は、約3キロの道を歩き、足が痛かったです。

またバスに乗ってばくすいして、家に帰ってもねてました。

(6年生児童)

ぼくは、地域の世界遺産(熊野古道)をととても大切だと思っています。なぜなら、自分の地域に世界遺産があることがとても珍しいからです。

道普請をして熊野古道をこれからもずっと大切なものとしてあつかっていきたいです。また機会があれば道普請をやりたいです。

(5年生児童)

私にとって、熊野古道(世界遺産)は自然がたくさんあり、空気がきれいで美しく、とてもきちょうなものです。だから、自分たちの地域になかなかない世界遺産の環境を守っていき、少しでも自分たちでできることをやっていきたいと思いました。

道ぶしんをしてみて、すごく大変だったけど、自分たちの地域の世界遺産をきれいにできて、すごくきれいになったし、心もきれいになりました。また、機会があれば道ぶしんをしたいです。

みなさんも世界遺産を守るため、きれいにするために道ぶしんをやってみませんか。

(5年生児童)

活動写真

